

令和7年度 第4回 与進小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月10日（火） 14時00分から15時55分まで
- 2 開催場所 与進小学校 多目的室①
- 3 出席委員 石津 恵也、鈴木 清久、鷹森 光代、幸田 記代子、星 貴之、鈴木 育男、
中山 利彦、仲川 尚志
- 4 欠席委員 足土 智彦、山本 希美
- 5 オブザーバー 村田 弘貴（長上協働センター主事）
- 6 学校支援コーディネーター 竹村 祥子
- 7 学 校 太田 賀子（校長）、影山 重広（教頭）、内田 智美（主幹教諭・CS担当）、
池田 典央（生徒指導主任）、堀内 千佳代（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 堀内 千佳代

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、第1回会議で承認された鷹森委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校関係者評価
 - ① 来年度の改善策
 - ② いじめ防止への取り組み状況
- （2）学校運営協議会の自己評価
- （3）令和8年度学校運営の基本方針について

12 会議記録

司会から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価

① 来年度の改善策

内田主幹より別紙資料「あかまつ」・『令和7年度与進小学校「学校評価アンケート」結果一覧』に基づき、学校評価の結果と今後の改善策についての説明があり、前回の協議会で熟議した内容をまとめたものとなるため、委員から特に発言は無く全員異議なくこれを承認した。

② いじめ防止への取り組み状況

池田生徒指導主任より別紙資料「令和7年度のいじめ報告」に基づき、いじめ認知及びいじめ防止への取り組みについての説明があり、委員より以下の発言があった。

- ・ 軽い暴力と重い暴力の違いは何か。(石津会長)
 - ⇒ 指導した教員がどう捉えるかにもよる。顔の様な危ない箇所に手がいった場合は重いと判断している。(池田生徒指導主任)
 - ⇒ 子供によって傷つき度合いが違うので、いじめの判断は難しい。子供の身になってあげることが大切。(鷹森委員)
 - ⇒ 子供の思いを大切にして寄り添いながら聞き取りをしている。また複数の教員が共感しながら、きめ細やかに対応している。(太田校長)
- ・ いじめから不登校になっている児童はいるか。(幸田委員)
 - ⇒ 今の時点ではない。(池田生徒指導主任)
- ・ 昔と違い今は保護者も過敏になっていてそれが子供にも影響を与えている。地域やコミスク活動の中で手助けができたらいと思う。(鷹森委員)
 - ⇒ 保護者の方に子育ての事を知っていただく意味で、来年度は「家庭教育講座」を計画している。(太田校長)

(2) 学校運営協議会の自己評価

議長より別紙資料「令和7年度 学校運営協議会自己評価表」に基づき、評価項目1～3についての意見を求めたところ、委員より以下の発言があった。

- ・ 評価項目2の「依頼内容が必ずしも明確でない」とあるが、学校より「ボランティア募集依頼書」を提出していただいたことで明確化している。(鷹森委員)
 - ⇒ もう少し柔らかい表現に変更する。(内田主幹)
- ・ 評価項目1の「活動案・改善策を積極的に提案し、双方向で深い熟議ができる場へと転換していく」とあるが、これでは何も協議してないように感じる。実際改善してそれを実行して、更に改善している旨を取り込んでほしい。(中山委員)

引き続き議長より評価項目4についての意見を求めたところ、委員より以下の発言があった。

- ・ 長上カルタの活用や3年生の総合発表等を見ていただく機会を設けることで、子供たちのやる気を引き出していきたい。(校長)
- ・ 地域イベントとはどんなものか。(幸田委員)
 - ⇒ 地元の納涼祭など地域でも子供たちに役割を持たせて活動してもらおう。(鷹森委員)
- ・ 地域の事業所とはどんな所か。(幸田委員)
 - ⇒ 2年生の町探検で散策しているお店とか、原島発電所とかイオンとか、与進小学校区の企業に協力を得たい。(内田主幹)
- ・ CSだよりをカラーで印刷したものを自治会長に送付し、公会堂に貼っていただいたらどうか。(幸田委員)
 - ⇒ どの自治会も貼ってくれると思う。(仲川委員)
 - ⇒ 情報発信する方法を広げて地域に根付いていきたい。(校長)

(3) 令和8年度学校運営の基本方針について

まずはテレビ映像にて別紙資料「第4次浜松市教育総合計画」を視聴した後、校長より別紙資料「令和8年度 浜松市立与進小学校経営基本方針」に基づき、学校運営基本方針についての説明がされ、委員より以下の発言があった。

- ・ 学校教育目標において「知・徳・体」とあるが、一番大事なものは「知」なのか。
(鈴木育男委員)
 - ⇒ 「知・徳・体」バランスよく育んでいく。学力をしっかりと身につけ力強く生きていく力を養いたい。(校長)
- ・ 塾に通っている子といない子の格差についての対応、及びタブレット使用による視力の低下に対する対応はどうか。(中山委員)
 - ⇒ 塾に通っているかどうかは判断がつかないが、子供達はみな学習問題に前向きに取り組んでいる。但しその点については今後意識し、研修を積んでいきたい。タブレットに関しては、学校では長時間使用することはないようにしている。決まった時間にメリハリをつけて使用している。用紙等アナログとのバランスも考えながら使用していく。(校長)
- ・ 休みの対応としてオンライン授業をしている学校がある。また休みの課題連絡にさくら連絡網を使用してはどうか。(幸田委員)
 - ⇒ 休んでいる児童と教員がタブレットを使用して話したりすることはあっても、児童によって状況が違うのでオンライン授業は行っていない。今後検討していきたい。課題の連絡については、さくら連絡網を活用するよう改善する。(校長)
 - ⇒ 学級閉鎖など突然休みになった場合、タブレットを全員持ち帰っていない場合もある。また各家庭でインターネット環境も違うという問題点もある。(竹村コーディネーター)

協議の結果、令和8年度学校運営の基本方針について全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ・ 影山教頭より夢育やらまいかCS加算分について口頭で報告がされた。
- ・ 影山教頭から、次回会議は、令和8年5月14日(木)13時30分から開催される旨の報告がされた。